

第2回かごしま材利用建築物コンクール受賞建築物

I 木造又は木造との混構造の部

1 最優秀賞（1点）

名称 小浜ヴィレッジ

用途 多目的交流施設

所在地 霧島市隼人町

建築主 株式会社 住まいす

設計者 株式会社

フジワラテッペイ

アーキテクツラボ

施工者 株式会社 住まいす

【建築物の特徴】

- 地元産スギ材のぬくもりや開放的な木造空間により、訪れる人々に居心地の良さを提供できる施設。
- 伝統的な三角焼きによる耐候性の高い焼杉を外壁に活用。
- 焼杉の外壁は実無しビス留めとし、劣化部分のみを交換できるよう経年後の修繕面を工夫。
- 大径木を積極的に活用し、森林資源の循環利用等に貢献。

【評価のポイント】

- 複数の店舗や施設で構成され、施設全体の規模が大きく、木造のインパクトが強調されており、非常に高い木材利用のPR効果がある。
- 一般材による木構造を基本としつつ、屋根にCLTを使用するなど、木材をふんだんに使用している。
- 海に面していることから耐候性の高い焼杉を外壁に使用し、外観のアクセントとしての効果も発揮されている。
- 地域を取り込む村づくりに木を活かし、地域の拠点となるよう努力し続けていることは、木の魅力を伝えることにもつながる。



撮影:小川重雄



撮影:小川重雄

2 優秀賞（2点）

名称 enefil吉野

用途 事務所等施設

所在地 鹿児島市吉野町

建築主 日本ガス 株式会社

設計者 ト拉斯・アーキテクト

株式会社

施工者 日本ガス住設 株式会社

【建築物の特徴】

- 木質ラーメン構造による大スパンの空間を実現した施設。
- 柱、梁等には大断面集成材、天井部にはスギCLTを使用。
- 木造建築物の良さを感じてもらうための集客イベントを開催。
- HP、パンフレットを活用し、かごしま材の良さを発信。

【評価のポイント】

- 建物は事務所やイベント会場として活用しており、非住宅分野の木造施設としてPR効果が高い。
- 構造材を現しとし、床もオーク材を使用して木の柔らかさや温かさを感じができるなど、木の活かし方に工夫が凝らされている。
- 建物内部から桜島が見通せるなど、眺望も考慮した配置で設計・施工されている。



2 優秀賞（2点）

名 称 曽於市役所大隅支所

・大隅中央公民館

・市立図書館大隅分館

用 途 庁舎・公民館・図書館

所在地 曽於市大隅町

建築主 曽於市

設計者 株式会社 畠中設計

施工者 渡辺・川原田

特定建設工事共同企業体

【建築物の特徴】

- ・構造材を現しとするほか、耐力壁も意匠的なデザイン。
- ・図書館の壁には杉板を使用し、調湿効果による快適な室内環境を保つとともに、蔵書の保護にも配慮。
- ・県産材のうち約40%は曽於市産材、かごしま材のうち約60%は認証かごしま材を使用。
- ・棟上と竣工に現場見学会を実施し、木材の利用をP R。

【評価のポイント】

- ・市役所・公民館・図書館が一体となった多くの市民が活用する施設において、地元産材をふんだんに利用しており、P R効果が高い。
- ・構造材を現しとし、内装も意匠をこらしたデザインとするなど、木の良さ、ぬくもりが感じられる。



3 特別賞（1点）

名 称 木とふれあう複合施設「椋」

用 途 多目的交流施設

所在地 南九州市川辺町

建築主 マル川建設 株式会社

設計者 marukawa建築設計事務所

施工者 マル川建設 株式会社

【建築物の特徴】

- ・軒を大きく張り出し、雨掛け部分を減らすことで、木材の長期メンテナンスに配慮。
- ・深い軒、黒く塗った外壁、木質感を活かした軒天、広いデッキが周辺の景観に調和。
- ・地域交流の場としての活用、木工教室やマルシェの開催に加え、HPやS NS等で木材利用の魅力を発信。

【評価のポイント】

- ・2棟の建物を1つの大屋根でつなげるなどデザイン性に優れており、人々の目を引く建築物となっている。
- ・長屋風で、かつ2世帯住宅としての活用など、利用面で多くの可能性を持つモデル的な施設である。
- ・細部にまで木を使うなど、木造への意識が強く、P R効果が高い。



II 内装木質化の部

1 最優秀賞（1点）

名称 姶良市役所本庁舎

用途 庁舎・事務所等施設

所在地 姶良市宮島町

建築主 姶良市

設計者 山下設計・永園設計・ゲンプラン設計業務委託共同企業体

施工者 フジタ・渡辺・福永特定建設工事共同企業体

【建築物の特徴】

- 利用頻度が高い窓口や共有部を木質化することで、多くの市民に木の良さを体感してもらうことができる施設。
- 天井ルーバーは見付面を広く取ることで、木材の温かみを感じさせる表情を持たせ、幅に一定のリズムをつけることで、人目を惹くようにデザイン。
- ルーバー部材の長さを短く一定に揃えることで、小部材単位での維持・修繕が可能となるよう設計・施工。
- 内装仕上げ材はモノトーンを基調とし、スギの温かみが際立つようにコーディネート。
- 姶良市産杉材を活用している旨のPRポスターを作成し、木材仕上げを採用する空間に掲示。

【評価のポイント】

- コストを抑えながら広い面で木材を感じられ、他の自治体への波及効果が期待できる。
- 天井ルーバーによってライティングの効果が格段と上がっている。ダウンライトがまぶしくなく、床に反射することで木材の持つあたたかみが強調され、柔らかい光が広がっている。
- 姶良市産のスギ及びメアサスギのPRパネルを展示し、木材利用推進に効果がある。

